JR東労組 Yokohama
2026年10月 2日
第60号
JR東労組横浜地本
発行人 椀田優一
編 集 情宣担当
ホームページ
http://www.jreu-yokohama1.jp/

横地申第2号 南武線と鶴見線乗務業務の一元化に関する解明申し入れ 団体交渉を行う！②

4. 業務の一元化に伴う社員数の変更があるのか明らかにすること。

【会社回答】業務の運営に必要な要員は確保していく考えである。

組 合	会 社
社員数の変更はあるのか。	現段階で示すのは難しい。必要な要員は確保する考えである。
鶴見乗務の人数形態をそのまま一元化するのか。	単純に足すとはならない。人材育成等で必要な要員は配置する。一元管理をする中で、中原乗務で仕事する方が多くなるイメージである。
社員数は示さないのか。	具体的な人数は示していない。基本は出面として示していく。

5. 業務の一元化に伴う中原乗務の業務内容別の出面数を示すこと。

【会社回答】柔軟な働き方の推進の趣旨を踏まえ、業務量については、年間を通じた平均的な業務量の基準として1日あたりの出面数を示すこととなる。なお、業務の運営に必要な要員は確保していく考えである。

組 合	会 社
中原乗務の出面数を示すこと。	現時点では示せない。示す段階になれば示していく。
年間を通じた平均的な業務量の基準とはどういうことか。	平均的な業務量において出面数が変わるということである。

6. 業務の一元化に伴う管理者数の変更があるのか明らかにすること。

【会社回答】業務の運営に必要な要員は確保していく考えである。

組 合	会 社
管理者数の変更はあるのか。	現時点では示せないが、社員数に紐づいてくる。
乗務行路の作成は先としても、管理者の配置は決まっているのではないか。	行路が決まらないと細かい配置数も決められない。
現・鶴見乗務在籍の管理者は全員が中原乗務へ行くこととなるのか。	相応の規模は想定できるが、効率的な体制の面もある。管理だけでなく、人材育成もある。

7. 業務の一元化に伴う指導員の体制について明らかにすること。

【会社回答】業務の運営に必要な要員は確保していく考えである。

組 合	会 社
指導員の体制について変更はあるのか。	現時点では示せないが、**(指導員の)効率化は考えていない。指導・育成できる体制が大前提である。** 確認！
一元化の過程で指導員の業務がかなり張っている。	現状については否定するものではないが、事業本部となり総体で担えるような体制を構築していく。
ワンマン訓練時はPT等が添乗して指導員の業務を補っていたが、指導員が本来の業務ができていないのではと認識する。	限られた要員の中で、外せないものはしっかりやっていく。総体でフォローしていく必要性は認識している。
指導員の負担が増大して超勤が張っているが、フォローがされていない。	全てを網羅しなければならない難しさはあるが、総体で見ていく。

明確にならない具体的な体制！このままで大丈夫なのか？
管理者や指導員の負担が増大することになれば鉄道の安全が大きく揺らぐことになる！

次号③に続く